

事業名	若者が地域を動かす！ 官・民・学の協働を促し、知恵や汗の持ち寄りで地域活性化を図る
実施主体	島根県立大学サークル MOMO
県担当課	地域政策課地域振興室

事業の成果

事業の目的 [IT普及]

- インターネットを利用した情報発信を学ぶ場としてPC教室を開催し、町の活性化を図る。
- 地域の方と学生が交流できる場を設ける。

事業の内容

- 県立大の学生が講師を務めるパソコン教室を、浜田市の住民交流サロンで全12回開催し、自営業者、高齢者など幅広い市民が参加した。
- パソコン教室では、基本的にマンツーマン方式で、基礎からブログ、ホームページの作成まで行った。
- 学生から地域の方へ、また地域の方から学生へ、呼びかけや情報発信を行うために、“学生と地域の方をつなげるML”というメーリングリストを作成した。



目的の達成状況 [概ね達成できた]

- パソコン教室は、受講生の方から「また参加したい」という声をいただき、教室が地域に浸透していることを実感し良い結果で終わることができた。
- 学生がパソコンのスキルを教えるだけの教室ではなく、学生も地域の方からいろいろなことを学べるような“両者が互いに教えあうことができるパソコン教室”を展開することができた。
- 次につながるイベントを考えきれず、呼びかけができなかった。

協働の効果

反省点・改善点

- 事業の申請と補助金の申請が大変遅れてしまい、西部県民センターの方に迷惑をかけてしまった。スケジュールを事前によく確認しておくべきだった。

県との協働内容 [協働して実施した]

- 補助金の申請。

県との協働効果 [十分効果があった]

- パソコン教室に使用する機材を揃えることができた。

県への要望事項 [特になし]

反省点・改善点 [特になし]

市町村との協働 [協働して実施した]

- 広報。

事業の継続

事業成果の活用 [その他]

- 今回の事業で学生と地域のネットワークを築くことができたが、今は活用できていない。
- 各自がブログを作成し、店の新着状況を随時更新して活用くださっている方もいる。
- 商店街情報の地域内への発信として、各ブログの新着情報が自動的にメールマガジンで発信されるようなシステムを組むなど、現在、私たちのメンバーで松江高専の学生とも議論を始めた。
- 今後は、PC教室による技術指導だけでなく、情報にいかにも価値をつけて発信するか、そのシステムをどう創るか、が私たちの課題である。

事業の継続状況 [継続実施していない]

- 元々、期間限定でパソコン教室を開催していたから。
- 今後、違ったイベントを開催予定。
- 現在、島根県の農家取材をブログでアップするプロジェクトを準備している。
- ブログを書く人はパソコン初心者なので、このパソコン教室で学んだことを活かし、ブログ教室を開催したり、ブログ投稿マニュアルを作成している。

協働による発展 [協働により発展できる]

- 県の働きによって私たちの事業の内容を大きくすることができるし(金銭的に)、より多くの人に私たちの事業を知ってもらうことができる。

